

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分		実績	整理番号	5	課題区分	C	令和7年4月26日			
横断的な課題		大規模災害の経験を生かした自然災害に強い地域づくりの推進								
地域重点政策		大規模災害の経験を生かし「自然災害に強い持続可能な長野地域」をつくる						長野地域振興局		
実施機関		長野地域振興局			担当課	所属	環境・廃棄物対策課			
事業名		長野地域版2050ゼロカーボン普及啓発事業				電話	8-245-2124			
						E-mail	nagachi-kankyo@pref.nagano.lg.jp			
事業概要等	目的 (目指す姿)	「2050ゼロカーボン」達成に向け、長野地域の住民の「2050ゼロカーボン」に対する認知度を更に高め、再エネ・省エネの取組を一層浸透させる。								
	現状と課題	・「長野県ゼロカーボン戦略(計画期間:2021～2030年度)」に掲げる2030年度の温室効果ガス排出削減目標に対し、現状ペース(2022年実績ベース)の進捗では126万t-CO2不足し、目標達成が困難なことが判明している。このため、県民一人ひとりの取組を促進するための普及啓発が重要となっている。 ・現状では、県補助金等による住宅への太陽光発電設備支援、ゼロカーボンミーティングの開催、その他普及啓発イベントにより、「2050ゼロカーボン」の認知度は向上しつつあるが、具体的に何をどう取り組めばよいか分からないという人が依然として多い。 ・ゼロカーボンに限らず、環境系のイベントは意識の高い人が集まる傾向にあり、集客が難しいという課題がある。イベントを主催して普及啓発を行うだけではなく、人が集まる場所へ出向き、無関心層へのアプローチを強化する必要がある。								
	内容 (変更後の内容)	(1)「2050ゼロカーボン」の普及啓発 「2050ゼロカーボン」の必要性や具体的取組についての理解を促すため、普及啓発物品(クリアファイル、ステッカー等)を製作し、管内の団体やNPO法人等と連携したイベント等において配布する。 (2)「2050ゼロカーボン」取組促進キャンペーン ・「2050ゼロカーボン」の認知度を高め、具体的な取組を促進するため、イベント会場やインターネット上でゼロカーボンの取組に関するクイズを出題し、広く情報発信を行うとともに、ゼロカーボンについて楽しく学ぶ機会を提供する。 ・クイズの回答者には抽選で景品(ソーラーラジオ、置配バッグなどCO2排出量削減や災害レジリエンス向上に資するもの)をプレゼントする。 (3)出張！エコ活動推進隊 長野地域管内で開催されるお祭り、プロスポーツチームの試合など、環境分野以外のイベントも含めエコ活動推進隊(仮称)が出向き、ゼロカーボン、ごみ減量、サステナブルファッションなど、エコ活動の呼びかけを行う。また、2月の省エネ月間など、環境に関する月間や記念日に合わせ街頭啓発活動を行う。その際に用いる、PR物品(法被、横断幕など、長野地域振興局がPRを行っていることが一目で分かるもの)を制作し、話題性のある活動とする。								
	事業期間	令和6年9月 ～ 令和7年3月								
事業費等	(単位:円)									
	事業を構成する細事業名等		実施内容		実績額		備考			
	(1)「2050ゼロカーボン」の普及啓発		普及啓発物品の企画・製作		140,558		委託料(企画等経費8,000円、普及啓発物品製作119,780円、消費税12,778円)			
	(2)「2050ゼロカーボン」取組促進キャンペーン		クイズ及びアンケートの作成、集計、キャンペーン運営、報告書作成等		228,910		委託料(企画・運営等経費177,600円、広報ツール作成16,000円、景品12,500円、雑費2,000円、消費税20,810円)			
	(3)出張！エコ活動推進隊		オリジナル法被制作、消耗品購入		116,961		需用費(法被制作(10着)96,470円、消耗品(横断幕用ロール紙、街頭アンケート投票用シール等)20,491円)			
		合 計		486,429						
指標及び達成状況	成果指標				目標値		成果		達成状況	
	ゼロカーボンへの理解が深まったと回答した人の割合				80%		98%		◎ 達成	
	取組促進キャンペーンへの参加者数				100人以上		374人		○ 一部達成	
	エコ活動推進隊の活動報告(ブログ、SNS)に対するリアクション数(2～3月)				50件以上		318件		○ 未達成	
事業実績・成果		(1)「2050ゼロカーボン」の普及啓発 長野地域振興オリジナルのキャッチフレーズを入れたトレーシングペーパーファイル1,000部、オリジナルロゴをあしらったステッカー100枚を作成し、「ゼロカーボンミーティングin長野」などのイベントで配布した。 (2)「2050ゼロカーボン」取組促進キャンペーン キャンペーンの実施について、県公式Xで情報発信し、4,019件のアクセスがあった。また、長野県公式LINEで参加を呼び掛ける記事を配信したことにより、目標値を大幅に上回る参加者を得ることができた。クイズの出題内容を、県のゼロカーボン施策やゼロカーボンアクションに関する内容としたことで、参加者の内98%から「キャンペーンを通してゼロカーボンアクションなど新しい発見があった」との反響があった。 (3)出張！エコ活動推進隊 「推し活」をテーマに、ごみゼロとゼロカーボンを推す「同担歓迎！ゼロ推し隊」を結成した。係員全員でオリジナルの法被を着用して信州プレイブウォリアーズのホーム試合や長野駅で開催されたイベントへ出張し、出張先で実践した「ごみゼロ」「ゼロカーボン」の取組(シャトルバスに乗る、マイ皿を持参して食事するなど)をブログ記事で公開した。記事は、魅力発信ブログのアクセスランキング1位を獲得し、プレイブウォリアーズのファンからもリアクションがあるなど、これまでアプローチできなかった層へ働きかけることができた。								

今後の方向性	長野地域の住民の「2050ゼロカーボン」に対する具体的な取組を促進するため、ターゲットを絞った普及啓発事業を実施する。
--------	---